

公益財団法人ウェスレー財団

2023 年度 事業報告

(期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

[1] 総務事項

1. 評議員会・理事会

2023 年度は下記の理事会および評議員会が開催され、2024 年 3 月 6 日開催の第二回理事会(定例)における「③内部規程」以外の審議事項はすべて承認された。

開催年月日	評議員会・理事会	主たる審議事項
2023 年 5 月 30 日	第一回 理事会(定例)	① 2022 年度事業報告 ② 2022 年度決算報告 ③ 役員(任期満了理事)の評議員会への推薦 ④ General Borad of Global Ministries of the Methodist Church (Inc.)/The Hope 及び Stanton Women's Leadership Center とのパートナーシップ締結 ⑤ 6 月開催の評議員会の日程
2023 年 6 月 15 日	評議員会(定例)	① 2022 年度事業報告及び決算報告 ② 推薦役員の重任 ③ 「役員及び評議員の報酬ならびに費用に関する規程」の一部変更
2024 年 3 月 6 日	第二回 理事会(定例)	① 2024 年度事業計画 ② 2024 年度予算案 ③ 内部規程 ④ 業務執行理事(非常勤)の任命

2. 内閣府への報告

内閣府への報告を下記の通り実施した。

- 2022 年度事業報告等(2023 年 6 月 28 日)
- 2024 年度事業計画等(2024 年 3 月 15 日)

3. ウェスレーセンター全館 LED 化工事及びトイレの人感センサー設置

2023 年 6 月から 7 月にかけて、ウェスレーセンターのすべての照明を LED 照明に変更した。対象箇所は、財団オフィス、各テナントのオフィス、廊下及びトイレ内の全ての照明である。これにより、4 階の居住フロアを除いて、すべての照明の LED 化は終了した。

更に、上記 LED 化工事に併せて、2 階及び 3 階のトイレ照明を人感センサー式にする改修工

事を実施した。これにより、長期的には節電効果が期待できる。

4. その他ウェスレーセンター内の補修工事

(1) 空調設備の補修工事：

センター入口の廊の水漏れ補修工事(2023年7月実施)及び②テナントのオフィス内の空調設備(UNHCR 駐日事務所<2023年7月実施>、UNHCR 協会<2023年12月実施>)並びに③10月にゲストルーム(402号室)の空調設備の改修工事を各々実施した。

(2) 101号室のセキュリティ・システム (SECOM)の更新：

2024年2月に貸会議室として使用頻度の高い101号室全体のSECOMセキュリティの変更を実施した。

従来は、利用者が午後9時まで使用する際は、セキュリティのセットの為に職員が午後9時過ぎまで残り、休日使用の際は、同会議室の開閉の為に代表理事または職員の休日対応という問題があった。

スマートフォンによる遠隔操作が可能な本セキュリティ・システムの導入により、このような問題は解消された。

(3) 予算計上：

ウェスレーセンターの竣工から既に13年が経過して、いろいろな設備が耐用年数を迎えていることから、2024年度の予算では補修工事に予算を計上している。

5. 顧問税理士及び会計監査法人との更なる連携

2023年度は、会計監査法人による会計監査の2年目であった。これまでの中間監査及び期末監査を通して、財団の運営に関する問題点は指摘されていない。

月次ベースでは、代表理事、理事及び監事が出席する月次会計ミーティングが開催され、顧問税理士から月次決算に関する報告を受けると共に、質疑応答セッションを通してモニタリングがなされている。

2023年度は、財団設立以来見直されていなかった諸費用の配賦比率の見直しを実施した。会計監査法人及び顧問税理士との協議を通して、財団の現行実務に合った配賦比率に変更し、2024年度から使用される予定である。

今後、より一層、顧問税理士及び会計監査法人との連携を図り、必要に応じて専門的助言を得られる態勢を強化すると共に、第三者の専門的観点からのチェックも加えて、財団の会計処理及び税務処理全般の健全性を担保していく所存である。

6. 就業規則及び内部規程の整備

現行の労働基準法の規定及び財団の実務と不一致が目立ち始めた就業規則の更改及び下記の内部規程の作成・整備を実施した。

なお、本項目は、2024年3月6日の理事会において、引き続き検討事項として持ち越しが決定された。

就業規則	
給与規程	個人情報保護規程
退職金規程	特定個人情報保護規程
評議員会運営規程	個人情報保護基本方針
理事会運営規程	職場におけるハラスメント防止規程
監事監査に関する規程	公益通報規程
経理規程	文書管理規程

7. その他

7-1 退職職員の手続き：

国際プログラム担当職員(倉本良哉)の入職(2023年7月)・退職(2023年12月)に伴う住居及び保険関係の各種手続きは、すべて円滑に終了している。

7-2 役員責任保険の更新

役員責任保険(D&O保険)の更新をした(年額保険料：218,000円)。

[2] 経理・財務事項

- (1) PCA 会計とネットバンキングアカウントのデータ連携を行い、仕訳処理の手間を大幅に削減した。これに加えて、新たに PCA の自動仕訳機能を活用し、仕訳入力の所要時間を30%削減した。
- (2) FY2024 予算の策定に合わせて配賦基準の見直しを行い、従事割合や建物面積比を基に、より実態に即した配賦基準に改定を行った。
- (3) 無料の請求書作成システムを導入し、従来のエクセル・紙によるアナログな発行方法を廃止した。これにより請求業務の精度向上と、入金消込業務の効率化を実現した。
- (4) 2024年1月から完全義務化となった電子帳簿保存法への対応の為、電子請求書保管システムを導入し、データ形式で受領する請求書等の電子保管に対応した。
- (5) 勤怠集計業務において、新たに勤怠システムを導入し、従来のタイムカードに打刻し、各個人がエクセルに転記を行う形式を廃止した。ICカードで打刻し、自動集計・データ出力が可能になり、集計業務の所要時間を50%削減した。

[3] 広報事項

公式SNS(Facebook, Instagram 及び X)への定期的な投稿を継続し、学費助成金支給者、プログラム参加者などの関係者からのフォロワー数も昨年度より増加した。また SNS アカウントに公式 LINE アカウントも新規に作成した。今後運用予定。

最新ニュース(お知らせ)を目立たせるために、ウェブサイトトップ画面の修正を実施した。

[4] 公益目的事業

1. ウェスレーセンター管理事業：

1-1 センター内の賃貸運営：

現在、下記の4つのテナントに対してオフィス賃貸を実施している。このうち、①から③までの賃貸が公益目的事業扱いとなっている。

- ① 国連難民高等弁務官事務所駐日事務所 (UNHCR 駐日事務所)
- ② 特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会
- ③ 特定非営利活動法人 東京英語いのちの電話 (TELL)
- ④ ソメスサドル株式会社 (本社: 北海道・砂川市 / 馬具・革製品の製造・販売)

1-2 ゲスト・ルームの運営:

昨年度と同様、ウェスレーセンター4 階の 2 部屋(402・403)を関係者用のゲスト・ルームとして運営している。

1-3 貸会議室の運営:

引き続き、101 号室(99 m²)、201 号室(38 m²)及び 204 号室(68 m²)を貸会議室として貸出を実施していく。貸出時間は、いずれも午前 9 時から午後 9 時までである。

但し、利用者の中には一般企業もあることから、非営利法人の使用料(全体の約 40%)のみ公益目的事業として計上している。

2. 研修プログラム

2023 年度は、国際研修プログラム 3 つ、国内プログラム 7 つの合計 10 の研修プログラムを実施した。特に、コロナの収束により対面形式でのプログラムの再開が可能となった為、国内のプログラムでは初めての開催となるキリスト教高校の交流会イベント及びキリスト教団体との交流イベントを実施した。

なお、研修プログラム全体(国際・国内)の参加者は、合計 158 名(理事・職員を除く)となった。

詳細は、下記の通りである。

2-1 国際プログラム:

(1) アジア女性のためのリーダーシップ研修 in カンボジア

Asian Young Women's Leadership Development Seminar 2024 in Cambodia

実施期間	: 2024 年 2 月 19 日から 26 日(研修日程: 2 月 20 日~2 月 24 日)
実施場所	: カンボジア、プノンペン
参加者	: 合計 33 名(参加者 28 名、スタッフ 5 名) その内、日本から: 7 名 (参加者 5 名、代表理事 1 名、職員 1 名)
参加者年齢	: 18 歳 ~ 40 代
参加国	: 12 カ国 日本、カンボジア、インドネシア、韓国、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ベトナム、香港、ラオス
テーマ	: Where is HOPE? (テーマ聖句: イザヤ書 40 章 31 節)
協力団体	: General Board of Global Ministries Scranton Women's Leadership Center
概要	: <ul style="list-style-type: none">● アジアの若いクリスチャン女性を対象にしたリーダーシップセミナー

をカンボジアのプノンペンで開催。

- アジア各国の若い女性たちが直面する社会的課題、キリスト教団体が実施する女性支援活動(職業訓練、学業支援等)の取組み、カンボジアの痛みの歴史を視察・講義・交流を通して学ぶ機会及び自己の内面を振り返る機会を得た。
- 日本からの参加者には1日延長した日程を組み、メソジスト教会のミッション活動の一つである女子寮(Susanna Wesley House)の訪問、カンボジア・メソジスト教会での礼拝出席等を通して現地の若者と交流し、新しい人間関係の構築、グローバルな視野、英会話の実践の機会を得た。

(2) Service Work Camp 2024 in the Philippines

- 実施期間 : 2024年3月11日から18日
実施場所 : フィリピン、サンマテオ
参加者 : 合計11名(参加者10名、職員1名)
参加者年齢 : 19歳 ~ 24歳
協力団体 : Buklod Tao Center(NGO), NPO 法人 ICAN(開発・育成活動助成金2023年度助成団体)
- 概要 :
- フィリピン・リサール州サンマテオにある自然災害への防災に取り組むNGO Buklod Tao Centerを訪問。
 - NGOの建物の敷地と隣近所との境に壁を建設する作業(2018年度からの継続作業)の実施及び地域における活動(防災教育、環境教育等)を学んだ。
 - また、開発・育成活動助成金の助成団体であるNPO法人ICANの運営する児童養護施設訪問を通し、路上で暮らす子どもたちの現状や支援活動について学び社会課題(貧困問題、環境問題など)に目を開く機会を得た。
 - サンマテオの合同メソジスト教会での礼拝出席等からも異文化体験や他者との交流の中で価値観の違いやグローバルな視野を得た。

(3) 学費助成金(アジア・太平洋地域)交流会(オンライン) Wesley Legacy Fellow Fellowship(Online)

- 実施日 : 11月27日及び28日開催
参加者 : 20名
概要 :
- 2023年度から2024年度の学費助成金(アジア・太平洋地域)を交付された学生たちとの関係構築、ネットワーク作りのための交流会の実施。
 - バングラデシュ、インド、インドネシア、フィリピンの4か国から28名の学生がWesley Legacy Fellow(助成金支給対象者)として選ばれ、20名の学生が参加した。

2-2 国内プログラム :

(1) Wesley Legacy Youth 2023 学費助成金授与式(対面及びオンライン)

- 実施日 : 6月24日(対面及びオンライン)
 6月27日(オンライン)
 7月24日(対面)
 8月2日(オンライン)
- 場所 : ウェスレーセンター 101
- 参加者 : 計34名(学生30名、代表理事1名、理事1名、職員2名)
- 概要 :
 - 初めての開催として、学費助成金の授与者として選ばれた一人一人に対して認定書を授与する「授与式」を対面とオンラインのハイブリッド形式で実施。
 - 助成金を授与された者としての自覚を促す共に、交流の機会を通してネットワーク形成に寄与することが目的。

(2) インターンシップ・プログラム紹介イベント(第三弾)

- 実施日 : 2023年6月28日(19時30分から21時)
- 場所 : ウェスレーセンター 101
- 参加者 : 参加者9名(代表理事1名、スタッフ2名)
- 概要 :
 - 2022年度よりウェスレー財団で継続的に実施するインターンシップ・プログラムを紹介するイベントとして開催。
 - 2022年度のインターンシップ・プログラムに参加し、公益財団法人早稲田奉仕園と学校法人アジア学院においてインターンを経験した2名から各々のインターン経験を報告してもらう機会を提供。

(3) キリスト教主義高校交流会開催報告

Fellowship and Learning Event for high school students from Association of Christian Schools in Japan

- 実施日 : 8月23日(10時半から15時)
- 場所 : ウェスレーセンター 101
- 参加者 : 合計21名(高校生13名、教員5名、理事1名、職員2名)
- 参加校 :
 - 北海道: 遺愛女子高等学校
 北星学園女子高等学校
 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
 - 宮城県: 尚綱学院高等学校
 宮城学院高等学校
 - 熊本県: ルーテル学院高等学校
- 概要 : キリスト教主義高校の生徒達が、自校の歴史、レガシー及びミッションを調査・発表し、他校の生徒達との交流を通じて、お互いの視野を広げ、新たな気づきを育む機会を提供することを目的として実施。

(4) Wesley Zaidan's トーク・イベント :

国連人口基金(UNFPA)で働く増田智里氏の話をお聴こう(開催報告)

- 実施日 : 8月25日
- 場所 : ウェスレーセンター1階101(対面及びオンライン)
- 参加者 : 11名(講師1名、参加者6名、代表理事1名、職員3名)

- 概要 : ● 国際協働プロジェクトで国連人口基金(UNFPA)カンボジア事務所と協働して実施するプロジェクトである「カンボジアの女性と少女達をジェンダーに基づく暴力から守ることを目指したプロジェクト」の前現地スタッフである増田智里氏(現 UNFPA ニューヨーク本部助産官)をスピーカーとして迎えた。
- 国際的なキャリアや人生の歩みについて学ぶトーク・イベント。

(5) 沖縄スタディキャンプ 2023
Study Camp in Okinawa

- 実施日 : 9月15日から9月18日
場所 : 沖縄県
参加者 : 11名(学生5名、社会人4名、理事1名、職員1名)
概要 : ● 「ぎのわんセミナーハウス」(宜野湾市)の協力を得て、太平洋戦争時の沖縄戦、米軍基地、水質汚染、豊かな自然体験等を通して、社会的課題と平和を学ぶプログラムの実施。
- 日本国内在住の若者を対象に「平和と環境」に焦点を当てた学習と考察の場を提供することが目的。

(6) キリスト教団体ミッションラウンドテーブル

- 実施日 : 2024年1月24日
場所 : ウェスレーセンター 101
参加団体 : 6団体 参加者:10名(代表理事1名、職員2名)
日本キリスト教児童福祉連盟
一般社団法人キリスト教学校教育同盟
一般財団法人 JELA
公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会
公益財団法人日本 YWCA
公益財団法人ウェスレー財団
- 概要 : 日本国内のキリスト教を基盤にした連盟及び団体が連携し、協力・協働する可能性を模索することを目的として初めて実施。

(7) 2023年度研修プログラム報告会(対面)

- 実施日 : 3月23日
場所 : ウェスレーセンター 101
参加者 : 26名(プログラム参加者19名、一般参加者4名、理事3名、職員2名)
概要 : 2023年度で実施した「スタディキャンプ in 沖縄 2023」、「若い女性のためのリーダーシップ研修 2024 in カンボジア」、「ワークキャンプ in フィリピン 2024」の参加者の報告会を開催。

(8) 後援:「南北コリアと日本のともだち展がらす・2023—ともだち展の日」

- 実施日 : 11月25日(対面イベント)
場所 : ウェスレーセンター 101

- 来場者 : 43 名
実施団体 : 南北 코리아 と日本のともだち展実行委員会
概要 : 日本・韓国・北朝鮮・中国の子どもたちから寄せられた絵画作品の展示及び関係者が対面で集まるイベントの開催場所を提供。

3. 助成金事業

3-1 公益活動：

(1) 2023 年度ソーシャルジャスティス活動助成金（交付総額： 13,905,169円）

国際相互理解の促進、青少年の育成、女性のエンパワメント、社会的弱者への支援等を目的として国内で活動している諸団体の事業を対象に募集を行い、計 36 団体から申請があった。

選考委員会(野田理事、小海代表理事、生原職員)で審査した結果、30 団体への交付が決定した。2023 年度の交付総額は 13,905,169 円となった。

(2) 2023 年度開発・育成活動助成金（交付総額： 8,202,189円）

貧困や教育、保健衛生、社会的弱者の福祉向上等の分野で、日本、アジア・太平洋地域で既に 2 年以上実施されている事業を対象に募集を行い、計 20 団体からの申請があった。選考委員会(吉松理事、小海代表理事、生原職員)で書類選考及びオンライン面接による選考を実施した結果、4 団体への交付が決定した。

3-2 教育：

(1) 2023 年度学費助成金（日本国内）（交付総額： 19330.500 円）

経済的・社会的支援を必要とする日本国内の大学生、短大生、認可専門学校生及び大学院生で、社会貢献をしたいという意志があり、かつ所属校から推薦を得た学生を対象に募集を実施した。

計 34 名からの申請を受け、選考委員会(大久保理事、小海代表理事、生原職員)で書類選考およびオンライン面接を実施した結果、計 22 校、30 名への助成金交付が決定した。

(2) 2023 年度学費助成金（アジア・太平洋地域）（交付総額： 36,000米ドル）

経済的・社会的支援を必要とするアジア・太平洋地域の大学生で、ウェスレー財団のミッションエパートナーである United Board for Christian Higher Education in Asia とネットワークのある学校に所属し、かつ所属校から推薦を得た学生を対象に募集を実施した。

計 26 名からの申請を受け、選考委員会で書類選考およびオンライン面接を実施した結果、インド、インドネシア、バングラデシュ、フィリピンに所在する計 14 校、28 名への助成金交付が決定した。

(3) 研修参加費助成金

本助成金は、ウェスレー財団が主催するプログラム参加者を対象とし、参加費の一部を助成するもの。

2023 年度は、「沖縄スタディキャンプ 2023」の参加者四名と「若い女性のためのリーダーシップ研修 in カンボジア 2024」の参加者一名に対して、計 14 万円を助成した。

3-3 人材育成

(1) インターンシップ・プログラム

当財団は、インターン派遣先とインターン生の仲介及びインターン生のフォローアップをし、インターン実施に必要な経費を助成している。

2023 年度では、日本国内に在住する 20 歳から 30 歳までの若者で、社会的課題解決に関心があり、キリスト教精神を基盤とした NGO・NPO 団体、社会福祉施設または特別支援学校等でのインターンを希望する者を対象として、随時募集を実施した。

結果、2023 年度では、大学生 3 名をインターンとして下記に派遣した。

派遣先：

学校法人 アジア学院
社会福祉法人 基督教児童福祉会バット博士記念ホーム
特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン

4. 国際協働プロジェクト

2020 年度より実施している CHAD ベトナム、CHAD ラオスの「農業と保健衛生指導を通じた自立・持続可能なコミュニティー作り」プロジェクトは4年目が終わり、最終年度では、これからの移行準備を進める計画である。

加えて、2022 年度より開始された、ネパールでの「貧困地区 Terai における栄養と保険衛生指導プロジェクト」とカンボジアにおける「女性と少女達をジェンダーに基づく暴力から守るプロジェクト」も、各々2年目を終え、残り1年となった。

各々のプロジェクト進捗状況の視察のために、小海代表理事が、カンボジア(2023 年 11 月 16 日)ベトナム及びラオス(2024 年 1 月 26 日から 31 日)を訪問し、現地のモニタリングを実施した。

また「難民専門学校教育プログラム」the Refugee Vocational Education Programme 'RVEP'は、2023年度より公益財団法人 JELA(元ルーテル社団法人)、UNHCR 及びウェ

スレー財団の協働プロジェクト(期間:2023 年から 2028 年)として開始され、書類選考及び面接(203 年 10 月3日実施)を通して、2024 年度の受給者3名(ミャンマー、アフガニスタン、シリア)が選考された。

詳細は、下記の通りである。

1) 「農業と保健衛生指導を通した自立・持続可能なコミュニティー作り」CHAD ベトナム : General Board of Global Ministry of United Methodist Churchとの協働 (4/2020-3/2025)

対象コミュニティー	: Dak Dam, Kong Vang, Queng Grai, Sui, Lame (二村が追加された)
トレーニング参加者	: 965 名 (内 女性 49%)
ローガルボランティア	: 23 名
トレーニング プロジェクト合計	: 239 (内訳: トイレ 88、井戸 26、養鶏 102、養豚 23)
受益者合計	: 615 名
収 益	: USD 21,791.46
回転基金総額	: USD 11,678.08 (前年度より 65%増加)
内 容	: <ul style="list-style-type: none"> ● 農場から市場への道路整備 ● 精米機の購入

2) 「農業と保健衛生指導を通した自立・持続可能なコミュニティー作り」CHAD ラオス: General Board of Global Ministry of United Methodist Churchとの協働(4/2020-3/2025)

対象コミュニティー	: Hoitan, Hoican, Nalare, Hoixeng (一村が追加された)
トレーニング参加者	: 585 名 (内 女性 57%)
ローガルボランティア	: 27 名
トレーニング プロジェクト合計	: 250 (内訳: トイレ109、井戸13、鶏/魚51、豚/やぎ77)
受益者合計	: 2,239 名
収 益	: USD 59,912.17
回転基金総額	: USD 7,525.99 (1 世帯当たり、月平均 USD20 から USD40 の増加)
内 容	: 衛生教育の実施

3) 「貧困地区 Terai における栄養と保健衛生指導プロジェクト」ネパール : NPCS(Nutrition Promotion &Consultancy Service)との協働 (1/2022-12/2024)

トレーニングの実施 参加者	: フィールドスタッフ 5 名
	: 母親 240 名
	: 青少年 513 名
	: 学校教師 10 名
	: 父親 116 名

栄養指導 : 3 グループ
 5歳未満児の成長モニタリング : 2,877 名
 中度栄養失調児へのリハビリ : 376 名

4) 女性と少女達をジェンダーに基づく暴力から守るプロジェクト」カンボジア: Misesan Cara (Irish Government) と UNPFA Cambodia (United Nations Population Fund) との協働 (4/2022-3/2025)

- Mobile “SafeApp” が開発され、2023 年12月に200人を対象にパイロット・テストを実施した。

テクニカルワーキング : 地域、情報内容、アプリの再検討と試行
 グループによる調整
 内 容 : アプリのためのパンフレット作成と広報

5) 「難民専門学校教育プログラム」the Refugee Vocational Education Programme ‘RVEP’ : 公益財団法人 JELA(元ルーテル社団法人)、UNHCR との協働(1/2024-12/2028)

- 選考委員会による書類・面接(10 月3日)を通して 2024 年度は下記の受給者3名(シリア、ウクライナ、ミャンマー)を選考した。

受給者氏名	出身国名	所属校
Ali Hussein	シリア	日本電子専門学校
Osman Suad	ウクライナ	日本電子専門学校
Paw U Lee	ミャンマー	京葉介護福祉専門学校

[5] 収益事業

益事業としては、① 一般企業・団体向け貸会議室の使用料金、② 2階テナント(ソメスサドル株式会社)及び③ 4階居住フロアの3世帯からの定期賃貸借料収入となっている。

このうち、①の使用料金は貸会議室の使用頻度に依存するが、貸会議室収益合計の約60%が収益事業に計上されている。

以上